高津区学校流域プロジェクト等 推進業務委託報告書

令和2年3月 NPO 法人鶴見川流域ネットワーキング

(目次)

	1 事業概要		
	1-1 実施目的		1
	1 - 2 実施内容		1
	1-3 学校流域	プロジェクトにおける基本方針	2
	1 – 4 たかつの目	自然の賑わいづくり事業における基本方針	2
	2 学校流域プロジ <i>:</i>	⊏クトの推進	
	2-1 区内市立/	N学校連携による環境学習の支援	3
	2 - 1 - 1	久本小学校	4
	2 - 1 - 2	中央支援学校	5
	2 - 1 - 3	久地小学校	6
	2 - 1 - 4	橘小学校	7
	2 - 1 - 5	久末小学校	8
	2 - 1 - 6	梶ヶ谷小学校	9
	2 - 1 - 7	子母口小学校	10
	2 - 1 - 8	南原小学校	11
	2 - 1 - 9	西梶ヶ谷小学校	12
	2 - 1 - 10	下作延学校	13
	2 - 1 - 11	新作小学校	14
	2 - 1 - 12	高津小学校	15
	2 - 1 - 13	末長小学校	16
	2 - 1 - 14	上作延小学校	17
	2 - 1 - 15	坂戸小学校	18
	2-2 指導者向	向け学習会	19
3	「たかつの自然の則	張わいづくり」事業の推進	
	3 - 1 たかつ生	ときもの探検隊	21
	3-2 たかつフ	kと緑の探検隊	25
	3 — 3	告作 業	27

1 事業概要

1-1 実施目的

自然の賑わいに溢れた持続可能な循環型都市「エコシティたかつ」の実現に向けた目標と 具体的な行動計画を示した「エコシティたかつ」推進方針のリーディングプロジェクトであ る「学校流域プロジェクト」を推進するため、健全な水循環と生きものの賑わいを再生し支 える地域のモデル基地として、区内小学校および中央支援学校に対して、プロジェクトの支 援を行い、環境学習、地域との交流活動を推進する。また、水系や流域などのランドスケー プや生物多様性の視点を踏まえ、区内を流れている河川の小流域を単位として水・緑・生き ものの調査を市民協働で行うとともに、さまざまな活動を通して、保水力・土砂防災力の高 い流域づくりへの貢献及び自然の賑わいの回復を目指す。

1-2 実施内容

- 1) 学校ビオトープを活用した環境学習、体験活動の活性化支援・指導育成
 - ・地域の自然環境とビオトープを関連付けた体験活動を通じた環境学習の支援を、区内市 立小学校15校および市立中央支援学校において、各校1回実施した。
 - ・整備済みの小学校が自立してビオトープを維持管理し、環境学習・体験学習が実施できるよう東高津小学校を会場として、指導者向け学習会を実施した。

2) たかつの自然の賑わいづくり事業

- ・専門家と一緒に緑ヶ丘霊園内の森を観察しながら、生きもの探しなどを通じて、自 然の生態について学ぶ児童向けイベント「たかつ生きもの探検隊」を実施した。
- ・緑ヶ丘霊園内の森の観察やホタルやトンボが舞う谷戸づくりを行う市民向けイベント「たかつ水と緑の探検隊」を実施した。

1-3 学校流域プロジェクトにおける基本方針

1) 多くの生きものが安心して暮らせる安定した環境づくり

ビオトープとは、Bio (生きもの) +Top (場所) というドイツ語の合成語であり、「生きものの暮らす場所」という意味である。その本来の意味に立ち返り、人間にとって「自然」に見えるビオトープではなく、野生の生きものたちにとって頼りになり、安定して暮らしやすいビオトープづくりを優先することを第一の方針とした。

2) 継続的な維持管理が容易な構造

田んぼや雑木林、谷戸のため池などは生産の場であると同時に、多くの生きものが暮らすビオトープでもある。そして、これらの環境は放置しても維持できるものではなく、 人が手入れを行って管理することにより、初めて維持できるものである。

学校ビオトープも同様に、定期的な管理が必要である。そして、継続的な維持管理を 行うためには、専門的な知識をもつ限られた人にしか管理できない複雑な構造ではなく、 児童たちが教員や地域の方々と一緒になって、いつでもお世話ができるような単純な構造にすることを第二の方針とした。

3) 地域から飛来する生きものを呼び込むビオトープづくり

池のビオトープに入れる魚類、チョウのビオトープに植える植物は外部から持ち込むが、トンボやチョウなどについては、地域に生息する個体が飛来して、産卵を行い、ビオトープで成虫になり、また地域に飛んで行くことを支える、そのためのビオトープづくりを行うことを第三の方針とした。

その上で、学校の水辺ビオトープは都市の水生生物の暮らしのネットワークを育てる ことに貢献できるという話をしっかり児童たちに理解してもらうようにした。

4) 雨水の貯留と利用を進める

エコシティたかつ「学校流域プロジェクト」のもうひとつの柱が、学校における雨水の貯留とその利用の推進である。そこで、雨天時に校舎、校庭に降った雨を貯留し、晴天時に利用する工夫も進めることを第四の方針とした。

1-4 たかつの自然の賑わいづくり事業における基本方針

1) 森の保水力の向上

緑ヶ丘霊園内の森をモデル地区として、保水力を向上させることにより、土砂災 害に強い森にする。

2) 生物多様性の向上

植生の多様性の回復を図るとともに、湧き水を活用した水辺を創出することで、さまざまな生きものを育む森にする。

2 学校流域プロジェクトの推進

2-1 区内市立小学校連携による環境学習の支援

区内市立小学校14校および市立中央支援学校において、各校1回、述べ1,481名の 児童に対してビオトープを活用した環境学習支援を実施した。

業務実施内

	学校名	実施日	対象	参加。	人数	学習内容
1	久本小	5月15日	5 年生	4 クラス	150	ビオトープの生きもの採取及び観察
2	中央支援学校	5月22日	2 年生(中等部)	_	12	ビオトープの生きもの採取及び観察
3	久地小	5月30日	2 年生	5 クラス	153	プールのヤゴ救出大作戦
4	橘小	6月6日	3 年生	4 クラス	131	ビオトープの生きもの採取及び観察
5	久末小	6月10日	2 年生	4 クラス	119	プールのヤゴ救出大作戦
6	梶ヶ谷小	6月13日	3 年生	4 クラス	152	ビオトープの生きもの採取及び観察
7	子母口小	6月14日	5 年生	5 クラス	161	ビオトープの生きもの採取及び観察
8	南原小	6月21日	5 年生	2 クラス	44	ビオトープの生きもの採取及び観察
9	西梶ヶ谷小	6月27日	3 年生	3 クラス	89	ビオトープの生きもの採取及び観察
10	下作延小	8月29日	3 年生	2 クラス	62	ビオトープの生きもの採取及び観察
11	新作小	9月3日	飼育委員会	_	12	ビオトープの生きもの採取及び観察
12	高津小	10月7日	自然科学委員会	_	23	ビオトープの生きもの採取及び観察
13	末長小	10月17日	4 年生	5 クラス	161	ビオトープの生きもの採取及び観察
14	上作延小	10月23日	5 年生	3 クラス	122	流れる水の働きの実験及び観察
15	坂戸小	11月8日	5 年生	3 クラス	90	流れる水の働きの実験及び観察
				合計	1,481	

2-1-1 久本小学校

日 時 令和元年5月15日(水) 8:35~12:05

場 所 久本小学校 ビオトープ、理科室

対 象 5年生・4クラス (150名)

内 容 ビオトープの生きもの採取、観察

各児童に手網を渡して、ビオトープの生きものを採取した。その後、理科室へ移動し、 採取した生きものをシャーレに移して肉眼や虫眼鏡で観察。また、顕微鏡を用いて微生 物の観察も行った。以上のプログラムを55分の中で実施、1時限目から4時限目で計 4回・4クラス分を実施した。

1	メダカ	7	アメリカザリガニ
2	モツゴ	8	ミズムシ
3	シオカラトンボ(幼虫)	9	サカマキガイ
4	アメンボ	10	イトミミズ sp.
5	ユスリカ sp.	11	ケンミジンコ
6	ヌマエビ sp.	12	ワムシ



生きもの採取



生きもの解説



生きもの観察



アメリカザリガニ

2-1-2 中央支援学校

日 時 令和元年5月22日(水) 9:45~1:10

場 所 市立中央支援学校 ビオトープ、会議室

対 象 中等部2年生12名 (+中等部1・3年、希望者)

内 容 ビオトープの生きもの採取、観察

事前に繁茂したアサザの間引きを行ってから児童の生きもの採取を開始。その後会議室へ移動し、生きものの観察、解説を行った。

その後、お昼休みの時間を利用して、中等部1・3年、高等部の希望者および教職員 の観察の時間を設け、適宜解説を行った。

観察した生きもの一覧

1	メダカ	5	アオモンイトトンボ(幼虫)
2	ギンヤンマ(幼虫)	6	イトミミズ sp.
3	ショウジョウトンボ(幼虫)	7	サカマキガイ
4	シオカラトンボ(幼虫)		



生きもの採取



生きもの解説



生きもの観察



メダカ

2-1-3 久地小学校

日 時 令和元年5月30日(木) 9:30~11:40

場 所 久地小学校 プール

対 象 2年生・5クラス (153名)

内 容 プールのヤゴ救出

活動内容を説明後、班を 2つに分けて A班がプールの中に入り、手網を使用してヤゴをプールサイドにあげ、 B班がヤゴの選別を行うという作業を交互に 2 ローテーション行った。最後に今日救出したヤゴについての解説と飼い方の説明と質疑応答を行った。以上のプログラムを $1\sim3$ 組、 $4\sim5$ 組の 2 回に分けて実施した。

観察した生きもの一覧

1	ギンヤンマ(幼虫)	5	コマツモムシ
2	シオカラトンボ(幼虫)	6	ユスリカ sp.
3	ネキトンボ(幼虫)	7	アメンボ
4	アオモンイトトンボ(幼虫)		



ヤゴ救出の説明



ヤゴ救出の様子



生きもの解説



シオカラトンボ(幼虫)

2-1-4 橘小学校

日 時 令和元年6月6日(木) 8:50 ~ 12:20

場 所 橘小学校 ビオトープ、特活室

対 象 3年生・4クラス (131名)

内 容 ビオトープの生きもの採取、観察

各児童に手網を渡して、ビオトープの生きものを採取した。その後、多目的室へ移動し、採取した生きものをシャーレに移して肉眼や虫眼鏡で観察。観察後、モニターや写真を使って生きものを解説した。最後に、児童による質疑応答を行った。以上のプログラムを、60分の中で実施し、計4回・4クラス分実施した。

1	シオカラトンボ(幼虫)	6	サカマキガイ
2	ショウジョウトンボ(幼虫)	7	シマイシビル
3	コカゲロウ(幼虫)	8	ミズムシ
4	ユスリカ sp.	9	アズマヒキガエル(幼生)
5	ガガンボ en		



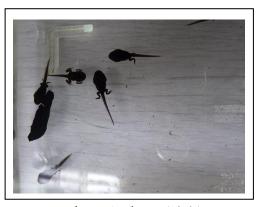
生きもの採取



生きもの観察



生きもの解説



アズマヒキガエル(幼生)

2-1-5 久末小学校

日 時 令和元年6月10日(月) 9:00~12:10

場 所 久末小学校 ギャラリー

対 象 2年生・4クラス (119名)

内 容 学校のプール清掃にあたり、ヤゴの救出

雨天のため、プールの底にたまった落ち葉等の堆積物とヤゴ等の生物採取は、事前に スタッフが行った。活動内容を説明後、児童は、衣装ケースに入れたプール底の泥中か らヤゴを探し、見つけたら周りに設置したバケツに移動させた。最後に今日救出したヤ ゴについての解説と飼い方の説明と質疑応答を行った。

以上のプログラムを45分の中で実施し、1時限目から4時限目で計4回・4クラス分実施した。

観察した生きもの一覧

1	シオカラトンボ(幼虫)	6	コミズムシ
2	ネキトンボ(幼虫)	7	アメンボ
3	ショウジョウトンボ(幼虫)	8	イトミミズ sp.
4	コカゲロウ sp.	9	コノシメトンボ(成虫♀/死骸)
5	ユスリカ sp.		



生きもの採取



ネキトンボ(幼虫)



生きもの観察



生きもの事前採取

2-1-6 梶ヶ谷小学校

日 時 令和元年6月13日(木) 8:45~12:15

場 所 梶ヶ谷小学校 ビオトープ、理科室

対 象 3年生・4クラス (152名)

内 容 ビオトープの生きもの採取、観察

活動内容を説明後、班を2つに分けてA班がプールの中に入り、手網を使用してヤゴをプールサイドにあげ、B班がヤゴの選別を行うという作業を交互に2ローテーション行った。最後に今日救出したヤゴについての解説と飼い方の説明と質疑応答を行った。以上のプログラムを $1\sim2$ 組、 $3\sim4$ 組の2回に分けて実施した。

1	メダカ	6	ユスリカ sp.
2	ギンヤンマ(幼虫)	7	アメンボ
3	シオカラトンボ(幼虫)	8	アズマヒキガエル(成体)
4	ショウジョウトンボ(幼虫)	9	ミズムシ
5	ヤブヤンマ(羽化殻)	10	イトミミズ sp.



生きもの採取



生きもの観察



生きもの解説



羽化したショウジョウトンボ

2-1-7 子母口小学校

日 時 令和元年6月14日(金) 8:45~13:55

場 所 子母ロ小学校 屋上ビオトープ、理科室

対 象 5年生・5クラス (161名)

内 容 ビオトープの生きもの採取、理科室での生きもの観察

2班に分かれ、①チョウのビオトープの観察、②池のビオトープの生きもの採取、を交互に実施した後、理科室へ移動し、全員で池で採取された生きものの観察と解説を行った。また、顕微鏡を用いて微生物の観察も行った。

以上のプログラムを60分授業の中で実施し、1時限目から5時限目の計5回・5クラス分実施した。

年日 安守	1 +	# *	+ ~	. 臣生
観察	しに	エさ	もの	一覧

1	メダカ	7	サカマキガイ
2	ギンヤンマ(幼虫)	8	シマイシビル
3	シオカラトンボ(幼虫)	9	イトミミズ sp.
4	ショウジョウトンボ(幼虫)	10	カイミジンコ
5	ユスリカ sp.	11	緑藻類
6	カ sp.		



生きもの採取



生きもの解説



生きもの観察(顕微鏡)



ギンヤンマ(幼虫)

2-1-8 南原小学校

日 時 令和元年6月21日(金) 13:30~15:00

場 所 南原小学校 ビオトープ、理科室

対 象 5年生・2クラス (44名)

内 容 ビオトープの生きもの採取、観察

各児童に手網を渡して、ビオトープの生きものを採取した。その後、理科室へ移動し、 採取した生きものをシャーレに移して肉眼や虫眼鏡で観察。また、顕微鏡を用いて微生 物の観察も行った。

以下のプログラムを、60分間で実施。計2回・2クラス分実施した。

観察した生きもの一覧

1	メダカ	6	イトミミズ sp.
2	アメリカザリガニ	7	サカマキガイ
3	ユスリカ sp.	8	ケンミジンコ
4	カ sp.	9	ワムシ類
5	アメンボ	10	ミドリムシ



生きもの採取



生きもの解説



生きもの観察



ケンミジンコ

2-1-9 西梶ヶ谷小学校

日 時 令和元年6月27日(木) 9:30~12:20

場 所 西梶ヶ谷小学校 ビオトープ、理科室

対 象 3年生・3クラス (89名)

内 容 ビオトープの生きもの採取、理科室での生きもの観察

各児童に手網を渡して、ビオトープの生きものを採取した。その後、理科室へ移動し、 採取した生きものをシャーレに移して肉眼や虫眼鏡で観察。観察後、モニターや写真を 使って生きものを解説した。最後に、児童による質疑応答を行った。以上のプログラム を、60分授業の中で実施し、2時限目から4時限目で計3回・3クラス分実施した。

1	メダカ	6	カ sp.
2	ギンヤンマ(幼虫)	7	サカマキガイ
3	アキアカネ(幼虫).	8	モノアラガイ
4	アオモンイトトンボ(幼虫)	9	アズマヒキガエル(幼生/幼体)
5	ユスリカ sp		



生きもの採取の説明



生きもの採取



生きもの解説



アオモンイトトンボ(幼虫)

2-1-10 下作延小学校

日 時 令和元年8月29日(木) 9:35~12:10

場 所 下作延小学校 ビオトープ、多目的室

対 象 3年生・2クラス (62名)

内 容 ビオトープの生きもの採取、観察

2時限目は2クラス合同で、「ビオトープってなんだろう?」のお話を実施。 その後、1 クラスずつ①池のビオトープの生きもの採取、②生きものの観察と解説、 を60分の中で実施し、3時限目から4時限目で計2回・2クラス分実施した。

1	メダカ	5	ミゾレヌマエビ
2	ギンブナ	6	カワリヌマエビ sp.
3	ギンヤンマ(幼虫)	7	カワニナ
4	ユスリカ sp.		



ビオトープの説明



生きもの採取



生きもの解説



ギンブナ

2-1-11 新作小学校

日 時 令和元年9月3日(火) 14:30~15:15

場 所 新作小学校 ビオトープ

対 象 飼育委員会児童(12名)

内 容 ビオトープの生きもの採取、観察

委員会活動の時間に実施。児童に手網を渡し、ビオトープの生きものを採取した。その後、生きものの解説をし、最後に児童による質疑応答を行った。解説中に下校する低学年の児童も、興味深げに生きものを見ていた。

1	メダカ	5	ヒメタニシ
2	モツゴ	6	イトミミズ sp.
3	シオカラトンボ(幼虫)	7	アゲハ(幼虫)
4	ショウジョウトンボ(成虫)	8	モンシロチョウ(幼虫)



生きもの採取



生きもの観察



生きもの観察



モンシロチョウ(幼虫)

2-1-12 高津小学校

日 時 令和元年10月7日(月) 14:35~15:15

場 所 高津小学校 ビオトープ

対 象 自然科学委員会児童(23名)

内 容 ビオトープの生きもの採取、観察

活動内容の説明後、児童に手網を渡し生きもの採取を行った。その後、ピロティー下へ移動し、採取された生きものの観察を行った。最後に生きものの解説を行い、児童からの質疑応答を行った。

観察した生きもの一覧

1	メダカ	4	コシアキトンボ(幼虫)
2	モツゴ	5	ユスリカ sp.
3	シオカラトンボ(幼虫)	6	アメンボ



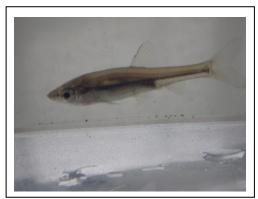
生きもの採取の説明



生きもの観察



生きもの採取



モツゴ

2-1-13 末長小学校

日 時 令和元年10月17日(木) 8:45 ~ 14:25

場 所 末長小学校屋上ビオトープ

対 象 4年生・5クラス (161名)

内 容 ビオトープの生きもの採取、観察

1 クラスを半分に分け、①チョウのビオトープの観察、②池のビオトープで生きもの 採取、を交互に実施、最後に全員で池で採取された生きものの観察と解説を行った。

以上のプログラムを、45分の中で実施し、1時限目から5時限目で計5回・5クラス分実施した。

1	メダカ	6	ユスリカ sp.	11	ウスイロササキリ
2	ヒメダカ	7	イトミミズ sp.	12	オンブバッタ
3	ギンヤンマ(幼虫)	8	コバネイナゴ	13	ナナホシテントウ
4	ショウジョウトンボ(幼虫)	9	ハネナガイナゴ	14	ニホンミツバチ
5	アオモンイトトンボ(幼虫)	10	エンマコオロギ		



生きもの採取



生きもの採取



生きもの観察



エンマコオロギ

2-1-14 上作延小学校

日 時 令和元年10月23日(水) 9:35~12:10

場 所 上作延小学校 砂場

対 象 5年生・3クラス (122名)

内 容 流れる水のはたらき(侵食・運搬・堆積)の実験、観察

事前準備として、校庭の砂場に、砂の斜面を2つ設けた。

砂の斜面にバケツで水を流し、流れる水の「浸食」、「運搬」、「堆積」の3つの働きを観察した。1クラスを半分に分け、①真っ直ぐな水の流れ、②曲がった水の流れ、の2種類の実験・観察を交互に実施、最後に全員でふりかえりを行った。

以上のプログラムを、45分の中で実施し、2時限目から4時限目で計3回・3クラス分実施した。



概要、趣旨の説明





水の流れの観察



2-1-15 坂戸小学校

日 時 令和元年11月8日(金) 9:30 ~ 12:10

場 所 坂戸小学校 砂場

対 象 5年生・3クラス (90名)

内容 流れる水のはたらき(侵食・運搬・堆積)の実験、観察

事前準備として、校庭の砂場に、砂の斜面を2つ設けた。

砂の斜面にバケツで水を流し、流れる水の「浸食」、「運搬」、「堆積」の3つの働きを観察した。1クラスを半分に分け、①真っ直ぐな水の流れ、②曲がった水の流れ、の2種類の実験・観察を交互に実施、最後に全員でふりかえりを行った。

以上のプログラムを、45分の中で実施し、2時限目から4時限目で計3回・3クラス分実施した。



趣旨、概要の説明



直線の流れ(水と流した後)



流れる水の働きの観察



堆積した砂の様子

2-2 指導者向け学習会

理科や総合学習などの授業において、ビオトープをより活用していただくことを目的として、指導者向けの学習会を行った。

日 時: 令和元年8月2日(金)10:00~11:50

場 所: 久地小学校 理科室およびビオトープ

内 容: 教員向け研修会

参加人数: 8名

久地小学校(理科室、ビオトープ)において小学校等教職員の方を対象とした研修会を 実施した。学習会では、学校流域プロジェクトを中心に「エコシティたかつ」の理念や取 組について説明するとともに、実際に高津区の小学校で展開している学習支援の内容(ビ オトープでの生きもの調査、顕微鏡等による生きもの観察等)の説明・体験を行った。最 後に、質疑応答、意見交換を行った。

<プログラム>

時間	内 容
9:00	会場準備(案内板の設置、受付の設営など)
9:30	受付開始
10:00	高津区の「エコシティたかつ」の事業紹介 (高津区役所企画課)
10:10	ビオトープを活用した学習について (TRネット)
10:10	① ビオトープの役割と環境学習事例紹介【20分】
10:30	質疑応答【5分】
10:35	(移動:理科室⇒ビオトープ)【5分】
10:40	② ビオトープ見学・説明【10分】
10:50	③ 池のビオトープでの生きもの採取【10分】
11:00	(移動:ビオトープ ⇒ 理科室)【5分】
11:05	④ 生きものの詳細観察と解説【25分】
11:30	⑤ 質疑応答・意見交換会【20分】
11:50	閉会



区担当職員よりエコシティたかつ事業紹介



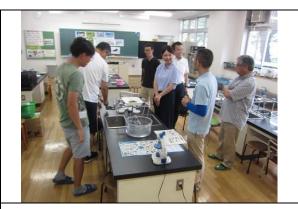
学校流域プロジェクト紹介



池のビオトープでの生きもの採取体験



採取した生ものの観察(顕微鏡)



生きものを観察しながら意見交換



池の生きもの解説

3 「たかつの自然の賑わいづくり」事業の推進

緑ヶ丘霊園内のモデル地区において、間伐など保水力向上のための作業を実施した。また、モデル地区内で子ども向け企画として「たかつ生きもの探検隊」、大人向け企画として「たかつ水と緑の探検隊」を開催し、市民協働による植生や生きもの調査、間伐体験などの手入れ作業を実施した。

3-1 たかつ生きもの探検隊

日 時:令和元年9月29日(日) 9:30~11:45

場 所:川崎市立緑ヶ丘霊園内

講師:小林範和(NPO法人鶴見川流域ネットワーキング事務局長)

参加人数:15名(大人7名、子ども8名)

(1) オリエンテーション

企画課長挨拶、スケジュールの説明の後、講師より本日のテーマ解説、立体模型を使って 緑ヶ丘霊園全体の地形の解説を行った。



勝野企画係長挨拶



霊園の地形模型で講師より導入の話

(2) 草地の生きもの探し

霊園内の草地斜面で、参加者に網とケースを貸出して虫捕りを行った。最後に、捕れた虫を集めて、虫の解説を行った。

東京都等では<絶滅危惧 II 類>に指定、神奈川県でも数が少ないとされている「ショウリョウバッタモドキ」も4年連続で確認されるだけでなく、神奈川県では準絶滅危惧種に指定されている「ムネアカセンチコガネ」が初確認され、合計で40種類もの昆虫等が観察できた。霊園内がたくさんの虫で賑わう様子を参加者に感じていただくことができた。



虫捕りの様子



虫捕りの様子



生きもの解説



生きもの観察

たかつ生き物探検隊で見つかった生き物一覧

分 類	名 称					
万 短	採取した生き物					
コオロギ	エンマコオロギ	ツヅレサセコオロギ				
バッタ	オンブバッタ	ショウリョウバッタ				
	ヒナバッタ	ショウリョウバッタモドキ				
	クルマバッタモドキ	ツチイナゴ				
チョウ	ヤマトシジミ	イチモンジセセリ				
	ツバメシジミ	シャクガの仲間				
	ウラナミシジミ					
トンボ	ウスバキトンボ	アキアカネ				
カマキリ	ハラビロカマキリ					
その他	ワラジムシ	ナナホシテントウ				
	モリチャバネゴキブリ	ムネアカセンチコガネ				
	ヨコバイの仲間	クビキリギリス				
	クモヘリカメムシ	アメンボ				
	ウスイロササキリ	ミスジコウガイビル				



ムネアカセンチコガネ



ショウリョウバッタモドキ

(3) 緑の観察

虫捕りを行った草地斜面や、モデル地区の谷戸までの移動中、周囲の森の状態と水との関係などについて観察を行った。

シラカシやシロダモなどの常緑樹が多くみられる場所では、林床が暗く、下層植物があまり生えていないため、雨が直接地表に当たることから土が流れ出しやすく、保水力が低いことを確認した。

一方、落葉樹が多く林床が明るい森では、アズマネザサなどの下層植物が繁茂しており、 下草や堆積した落ち葉などが一旦雨を受け止めるため、保水力が高く、あまり土の流出が無いことを確認した。

その後、モデル地区の谷戸に入り、整備作業を行った谷戸を観察。間伐を進め、谷の底まで光があたるようになった結果、林床に植物が繁茂し保水力が回復しつつある谷の様子を観察した。また、湧き水をたよりに暮らすサワガニを観察した。



ヘルメットを被り谷戸に入る



谷戸の状態について解説



サワガニ



感想・まとめの話

3-2 たかつ水と緑の探険隊

日 時:令和元年12月6日(金) 10:25~12:15

場 所:川崎市立緑ヶ丘霊園内谷戸

講 師:小林 範和 (NPO 法人鶴見川流域ネットワーキング事務局長)

参加人数:下作延小学校生徒5年1組 33名

2組 35名 子ども合計68名

" 教師 5名

合計73名

(1) 集合、注意事項説明

出発前に、挨拶と森での注意事項等の説明を行った。



講師の挨拶



趣旨、概要の説明

(2) 谷戸内の管理作業

緑ヶ丘霊園のモデル谷戸入口に到着後、全員ヘルメットを着用、緑の概要について説明を行った後、各クラスが交替で①トキワツユクサの抜き取り作業と②シラカシ等の間伐作業を行った。



谷戸の入り口にてヘルメット装着



谷戸入り口にて解説



シラカシ等の間伐作業



シラカシ等の間伐作業



トキワツユクサの抜き取り作業



トキワツユクサの抜き取り作業

3-3 森林整備作業

湿地環境を創出し、ホタルやトンボが飛び交う谷戸づくりを進めるため令和元年11月19日に整備作業を実施した。また、「たかつ生きもの探検隊」、「たかつ水と緑の探険隊」の開催にあわせて、参加者が安全に見学・活動ができるよう通路の整備等を行った。



風倒木の枝処理(11/19)



枝処理後の様子(11/19)



湿地創出予定地の堰の補強(11/19)



倒木の危険のある立枯れた木の伐採(11/19)



観察路の整備 (9/29)



児童の作業地にある危険木の除去(12/6)